

Contents 目次

特集1:使ってみました！認定こども園さくらのドキュメンテーションお試し例

特集2:カゴメ「野菜生活」×子ども×保育者で楽しむ！～たかさごスクールおおたかの森の実践事例

コラム:保育者からの贈り物

特集1:使ってみました！認定こども園さくらのドキュメンテーションお試し例



お話:
認定こども園さくら 手束
先生

「ルクミードキュメンテーション」とは、写真を撮り、気になったことを写真ごとに簡単なコメントをつけて記録することができる新ツールです。連続する写真にテーマを付けて「ストーリー」で記録することも可能で、保育者さんが振り返りをしやすく、周りの保育者へ記録をシェアして対話がしやすくなるよう、環境づくりと保育の質の向上を支援しています。

前回の北柏駅前保育園わらびに続き、今回は、社会福祉法人鐘の鳴る丘友の会認定こども園さくら(栃木県)の手束先生に使っていただき、感想を伺いました。



Q.どのような写真を選んでいきますか？

A.「この子たちのこの遊びを知ってほしい」という思いがあり、その日にあった出来事や子どもたちの遊びの中で、面白いなと思ったところなどを選んでいきます。



Q.記録をシェアしあうとどんなことがよいですか？

A.記録の中には「ちょっと先生聞いてよ、今日こういうことがあってここが面白いですよ」というような投稿もあります。それを見た他の保育者が、「この学年はこういうことをしているんだ」私たちのクラスでも共通の遊びを楽しんでいるよ！一緒にやらない！？と主体的に保育に生かす動きが自然に生まれます。

Q.どのようなことを記録していますか？

A.認定こども園さくらでは子どものつばやきを大切にしている、それを記録しています。1枚の写真では伝えられない部分が出てきたり、子どもの遊びがボンと飛んで、別の遊びに移ってしまうこともあります。そのため全体的な遊びとして記録するものもあるが、プロジェクトの観点で流れを意識した記録もしています。



ルクミー ドキュメンテーション

「ストーリー」で作ってみました

2021年09月09日

絵本『パンダのパンや』 布で小道具を作る

Eクラス

CHECK!



#5社会生活と関わり #6思考力の芽生え #数量・図形・文字等への関心・感覚
オリジナルの絵本を作り終え、今度はペーパートで表現してみることに。
物語に登場する小さなクロワッサンをフェルトで作ることにしたものの、形作りに苦戦。
本物のクロワッサンがどう作られるのかが分かればできるのではないかと考え、行程が分かる動画を調べました。
三角の生地をくるくる巻き、それを焼くことでクロワッサンになると知り、布でも同じ事をすればいいんだとひらめいたようです。ペーパートのどこで登場するか楽しみに！



2021年08月25日

どうしたら布でクロワッサンが作れるんだろう



2021年08月25日

本物の作りかたを見たら良いんじゃない？



2021年08月25日

三角の大きい方からクルクル巻くことができるみたい！

恐竜

Bクラス

CHECK!



#6思考力の芽生え #7自然との関わり・生命保持 #10豊かな感性と表現

恐竜の絵本を見ていると、恐竜の名前が書いてあることを発見！

調べていくと、水の中、陸上、空の上など恐竜によって住んでいるところが違うことに気づきました。

その中でもエサに注目し、どんな草、木を食べているのか。

部屋にいる恐竜たちにもエサがないから作ってあげよう！と恐竜の世界をイメージし作りはじめました。



2021年09月02日

この恐竜の名前はなんだろう？



2021年09月02日

空飛ぶ恐竜もいるんだ！



2021年09月03日

この恐竜のエサは草なんだ～もっとたくさんエサがないと！！

こうして写真とセットで子どものつぶやきが記録されていると、その時の様子がリアルにイメージしやすいですね♪
(スマート保育園通信編集担当
ママ友談)



たかさごスクールおおたかの森の実践事例



たかさごスクールおおたかの森(社会福祉法人高砂福祉会)では、カゴメ株式会社にご協力いただき8月から約1か月間、3～5歳児を対象に、園でトマトを栽培したり、野菜ジュースを給食で取り入れたりするなどを、食育の一環として行いました。ひと月の間継続して食育に取り組んだことは、今回が初めてといえます。食育の域を超えて子どもたちの興味は広がり、保育者自身も楽しんだという今回の取り組みは、どのような園の工夫があったのでしょうか。ご紹介します。(ご協力:たかさごスクールおおたかの森 武田統括園長、矢尾先生、キッチンの佐藤先生、宮脇先生、岩井先生へインタビュー)

本物の野菜に触れる⇔調べる 双方向学習で興味が深まる

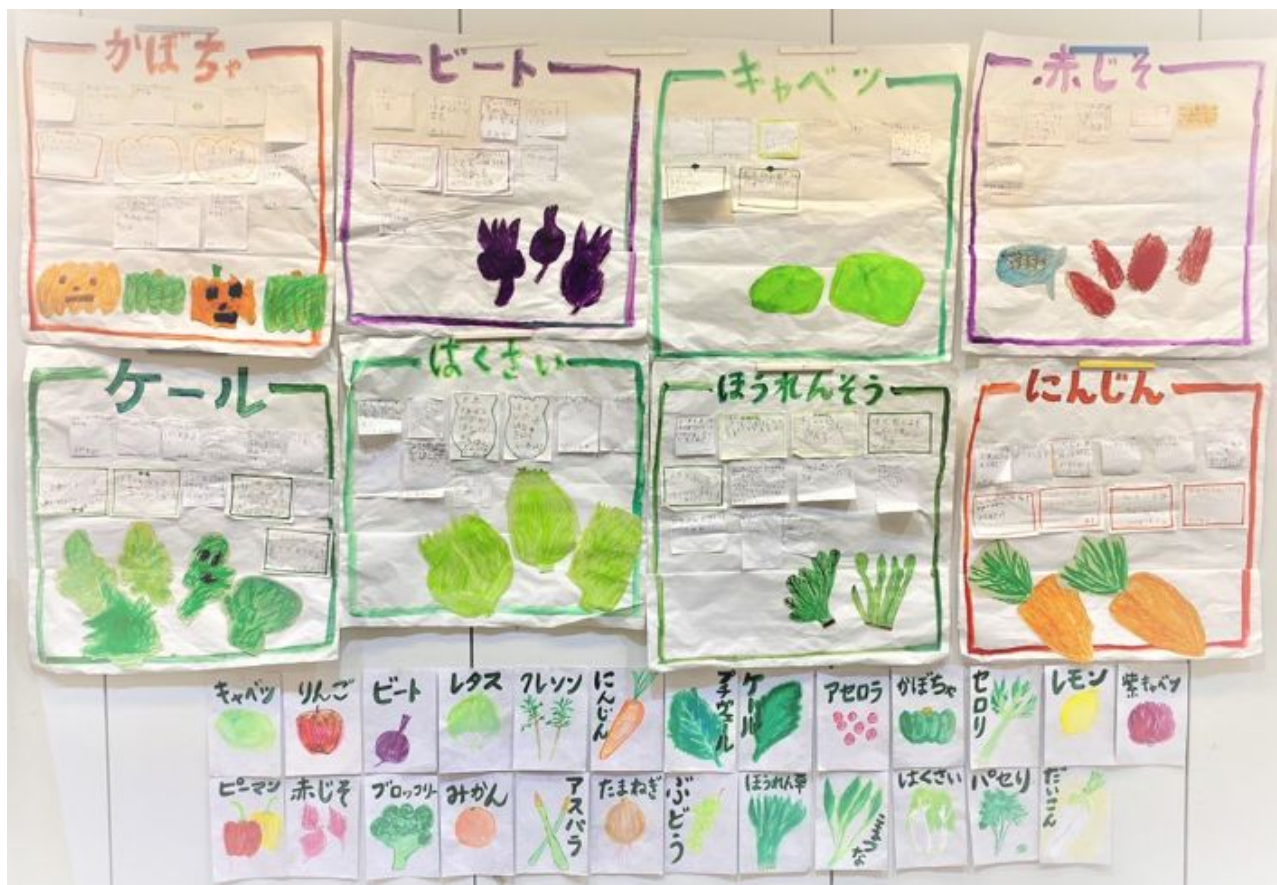
同園では、毎年食育の一環として、3歳はトマト、4歳は落花生、5歳はじゃがいもなど、学年にあわせて野菜を育てて収穫しています。

野菜を育てて収穫する、という体験はこれまでも行ってきたそうですが、今回は「ひと月の間1つのテーマで継続的に食育に取り組む」という点が初めての試みでした。

栽培して、収穫するという体験と同時に、今回は、給食等で配られる野菜ジュースについて以下のような取り組みをしました。

- **3歳児クラス** 「これだけの野菜がはいっているよ」「野菜とお名前が一致したら楽しいね」など話し、毎日みんなで乾杯して飲む
- **4歳児クラス** 「野菜博士」になって野菜とその野菜についてなにか1つ学ぶ
- **5歳児クラス** 「ひとりひとり専門のおやさいがわかるまでプロジェクト」を実践！
具体的には、野菜ジュースにどれだけの野菜が入っているかを調べ、ジュースは手軽に野菜が取れることや、噛むことの大切さの学びにつながるよう噛む姿をみせたりする。
また、調べた野菜の収穫の時期や、どのような所で育つのかを調べる。

子どもたちからは「20種類の野菜の中には苦いものもあるのに、飲んでみると4種類の果物の味しかない！」と驚く様子が見られたり、野菜を調べていくうちに野菜の成分にも子どもの興味関心が広がっていき、ビタミンやカリウム、カロテンという名前も知るに至りました。



《写真は、野菜ジュースに入っている野菜について、子どもたちが調べてまとめたもの》

普段の保育でこのようにキッチンの先生とここまで一緒に活動することはなかったという先生方。継続的に取り組むことで、特にキッチンの先生も子どもの成長過程を間近でとても感じる事ができたといいます。

キッチンの先生も、カゴメ野菜ジュースを給食のメニューに使うコラボメニューを考案したり、レシピを保護者に配信したりするなど、家庭での実践もサポート。コラボメニューの日は野菜ジュースがどこに使われているのか、子どもたちは探して大盛り上がり。「食でこんなに盛り上がったのは初めての経験」だったそうです。

子どもたちの学びが深まる、こんな姿も

- 🍎 図鑑を使って主体的に野菜について調べた。カロテンを知ってコロナに勝てるとわかり、飲まないわけには行かない！と言っている
- 🍎 野菜＝お通じが良くなり、腸内環境と心の関係は密接だと学んだAちゃん
「先生、野菜ジュース飲んだからいいお通じがでたよ！A（自分の名前）の心が開いた！Bくんがおもちゃを投げていたから、優しく教えてあげたよ！」と報告をくれる

野菜で学んだことを歌やダンスで表現！ついにはSDGsまで

このような継続的な学びを通して、たかさごスクールおおたかの森では、以下のようなアウトプットに取り組みました。



オリジナル！ベジタブルソング&ダンス『いっしょに野菜をたべようYO！！』

野菜ジュースについて学んだことを、歌にしてトイレで口ずさむ子どもの姿を先生が気づき、「学んだことどうでしょうか？」と子どもに投げかけたことがきっかけ。

学びを「歌とダンス！」にしたいと子どもから提案があったので、歌とダンスが好きな子を中心にクラス一丸となって作成！写真は考えている様子(左)と、完成したベジタブルソングとダンスをお披露目してくれたときの様子(右)。『いっしょに野菜をたべようYO！！』という名前も子どもたちが考えました。



また、ジュースを飲んでごみとなる紙パックの利用についても、子どもたちは関心をもち、植木ポットや、ダンスの衣装にするブレスレットを作成して再利用。「野菜を絞ったカスはどうなるの？」という質問が出たので野菜の皮でたい肥作りも行ってみるなど、ジュースをきっかけに子どもたちの世界は今も、広がりを見せているそう。保育士・キッチンの先生方の笑顔に、楽しさと継続的に食育活動に取り組んだことに手ごたえを感じている様子が伺えました。

保 育 者 か ら の 贈 り 物



3人ずっと
お世話になっています♪

我が家は子どもが3人いて、全員保育園にお世話になっています！長女・長男は保育園を卒園して小学生、末っ子の次女が現在5歳です。長女は過去2回転園していますが、長男は6年間、次女は現在進行形でずっと同じ保育園にお世話になっています。

長男も次女も、生後1ヶ月でお姉ちゃんの送迎のため保育園に同行していたので、先生方から「大きくなったねー」と声を掛けられ、名前も顔も覚えていただいていたので、0歳クラスで保育園に入園した際には「よく来たねー待ってたよ」と歓迎してもらえてとても嬉しかったです。

長男も次女も、0歳クラスの担当の先生が最初から大好きです。長男0歳のときに担当してくれた先生は、多分彼の初恋の人で、小学生になった今も時々保育園に来てぼったり先生に会うともじもじと照れています(笑)。先生も「(長男)くん、小学生になってカッコよくなったね～」なんて言ってくれるのでさらにテレテレです。

次女が0歳のときに担当してくれた先生は、ちょうど0歳の担当初めてで、オムツ替え、おしりふき、お着替え、ミルク、離乳食...と一生懸命育ててくれました！今も乳児クラスの担当をされていますが、園内で会うと「(次女)ちゃんがこんなに大きくお姉さんになって...初めてお世話させてもらった子の成長って感慨深いです！」と言ってくれます。母(私)は、子ども3人がたくさんの先生にお世話になり、園内に大好きな先生方がたくさんいるのですぐにコミュニケーションを取らせていただき、安心感でいっぱい。親子ともに保育園と先生方が大好きです。

保育園に10年お世話になっている我が家ですが、長女(小5)の将来の夢は、「保育士さん」です！